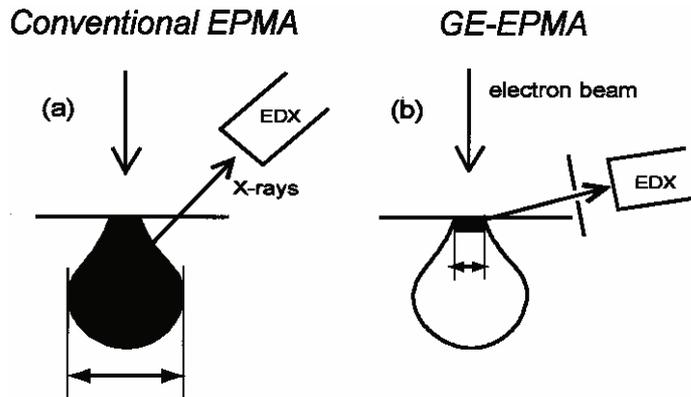


# 研究紹介（斜出射 EPMA についてとその応用）

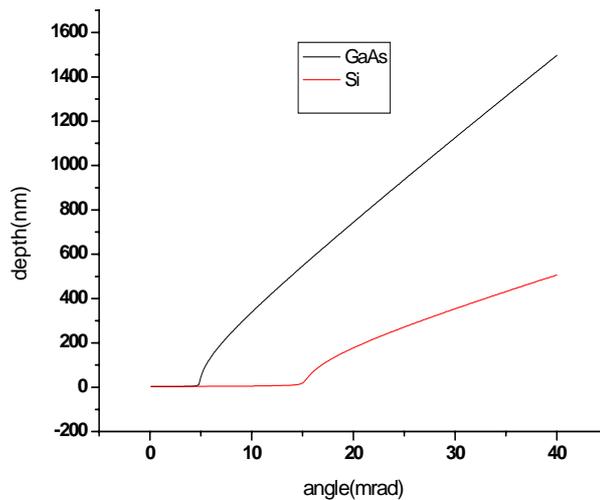
M1 鐵岡 浩平

これまでの研究から斜出射 EPMA は表面近傍の情報が得られるということがわかっている。



通常の EPMA (a)と斜出射 EPMA (b)における  
深さ方向および面内分解能の違い

現在行っている研究は EPMA では表面分析としては分析深さが若干深い方法（数  $\mu\text{m}$ ）であるが斜出射 EPMA は表面敏感な測定法であるので表面分析に適した標準試料の作製を試み、その作製方法についての検討と得られた検量線の妥当性について述べるということである。これは下のグラフからわかるように斜出射 EPMA では出射角は深さに依存するということを用いている。



出射角と深さの依存性